

令和5年度上半期介護保険給付実績について

1. 高齢者人口等について
(1) 第1号被保険者の推移について

(単位:人, %, ポイント)

項目	年度	R5 (R5.9月末)	R4 (R5.3月末)	R3 (R4.3月末)	R2 (R3.3月末)	比較増減	
						R5.3月末	R4.3月末
65～74歳		6,343	6,400	6,595	6,532	△ 57	△ 252
75～84歳		4,011	3,876	3,565	3,387	135	446
85歳以上		1,419	1,377	1,298	1,239	42	121
合計		11,773	11,653	11,458	11,158	120	315
計画値		11,909	11,602	11,295	10,988	307	614
増減		△ 136	51	163	170	△ 187	△ 299
住民基本台帳人口		52,268	52,215	52,374	52,370	53	△ 106
計画値		53,994	53,491	52,987	52,483	503	1,007
増減		△ 1,726	△ 1,276	△ 613	△ 113	△ 450	△ 1,113
高齢化率		22.5	22.3	21.9	21.3	0.2	0.6

※計画値は毎年9月末現在の数値で算出。

※第1号被保険者数には他市町村に所在する住所地特例施設の入所者数を含み、本市に所在する住所地特例施設の入所者数及び介護保険適用除外施設(宮城労災特別介護施設ケアプラザ富谷)の入所者数を除外。

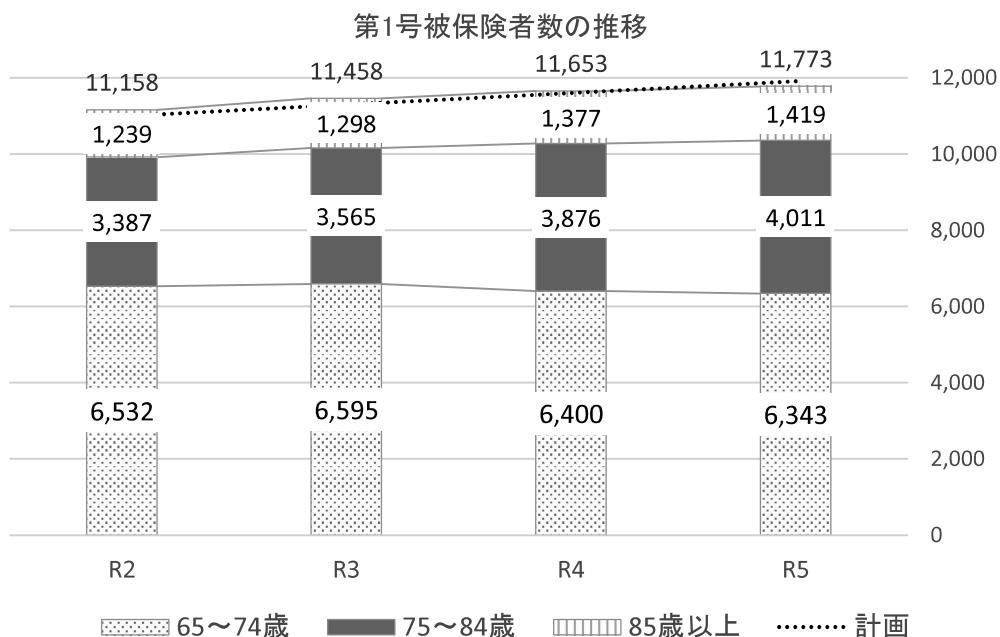
※高齢化率は、総人口に占める第1号被保険者数の割合を示したもの。

(高齢化率=第1号被保険者数/住民基本台帳総人口×100)

参考) 高齢化率:全国29.0%(令和4年10月1日現在)、宮城県29.1%(令和5年3月末現在)

【傾向と推移】

- ・令和5年9月末時点の計画値との比較では、第1号被保険者数は136人、総人口は1,726人、それぞれ下回っています。
- ・第1号被保険者数は毎年度200名以上増えており、今後も増加傾向で推移することが考えられます。
- ・住民基本台帳人口の推移が横ばいであるのに対し、第1号被保険者数の推移がほぼ計画値どおりの増加となっているため、高齢化率は年々数値が高くなっています。



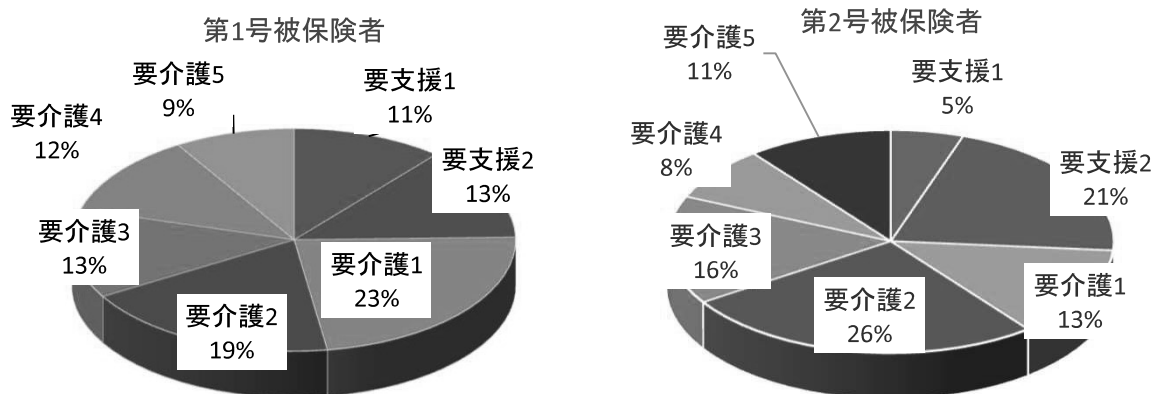
(2) 認定者数の状況について（令和5年9月末現在）

（単位：人，％）

介護度 項目	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	構成割合
第1号被保険者	187	229	388	319	218	200	148	1,689	97.8
65～74歳	34	30	32	34	21	32	28	211	12.2
75～84歳	81	104	157	109	74	52	48	625	36.2
85歳以上	72	95	199	176	123	116	72	853	49.4
第2号被保険者	2	8	5	10	6	3	4	38	2.2
合計	189	237	393	329	224	203	152	1,727	

【傾向と推移】

・75歳以上の認定者が全体の8割以上を占めており、団塊の世代の方が後期高齢者に移行完了する令和6年度以降も、高齢者人口の推移を勘案すると割合が高くなっていくものと考えられます。
 ・認定者数の推移については、後期高齢者の増加に比例して認定者数の増加が見込まれます。



(3) 年齢別認定者数の推移について

（単位：人，％，ポイント）

項目	年度	R5 (R5.9月末)	R4 (R5.3月末)	R3 (R4.3月末)	R2 (R3.3月末)	比較増減	
						R5.3月末	R4.3月末
第1号被保険者		1,689	1,616	1,558	1,508	73	131
65～74歳		211	196	199	217	15	12
75～84歳		625	595	600	574	30	25
85歳以上		853	825	759	717	28	94
第2号被保険者		38	37	44	48	1	△6
合計		1,727	1,653	1,602	1,556	74	125
計画値		1,638	1,588	1,548	1,503	50	90
計画との差		89	65	54	53	24	35
出現率		14.3	13.9	13.6	13.5	0.4	0.7

※出現率は、第1号被保険者数に占める第1号被保険者の認定者の割合を示したものの。

（出現率＝第1号被保険者の認定者/第1号被保険者数×100）

参考）認定者出現率：全国19.4%、宮城県19.0%（令和5年3月末現在）

【傾向と推移】

・令和5年9月末時点の認定者は計画値を89人上回りました。
 ・出現率の今後の推移については、後期高齢者の増加に伴い、加齢による認定者数の増加が見込まれるため出現率も高まることが予想されます。

(4) 介護度別認定者数の推移について

(単位:人, %)

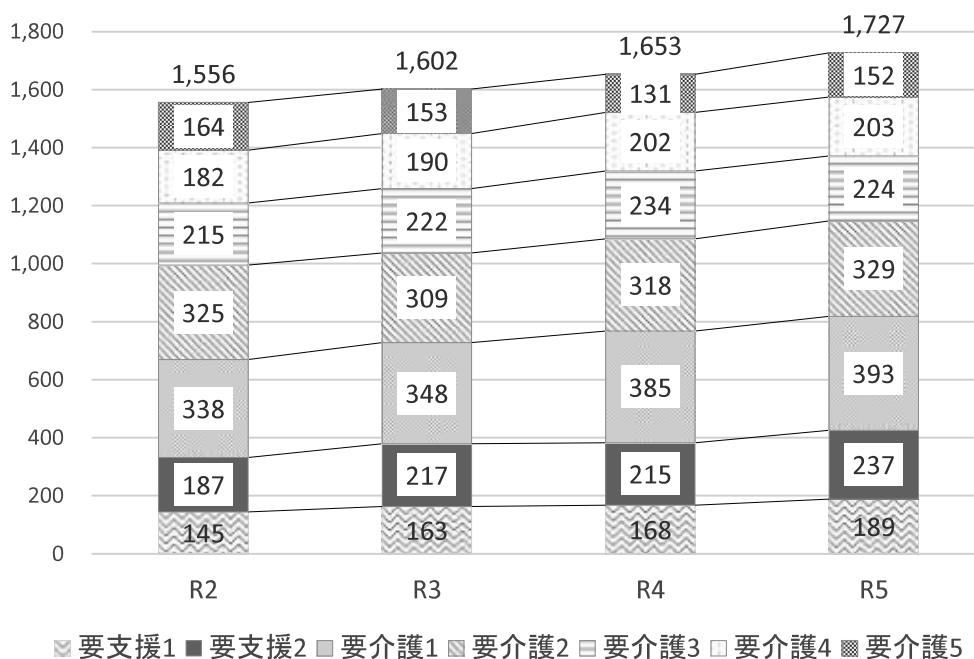
年度	R5 (R5.9月末)		R4 (R5.3月末)		R3 (R4.3月末)		R2 (R3.3月末)		構成割合 (R5.7月末)	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	宮城県	全国
要支援1	189	10.9	168	10.2	163	10.2	145	9.3	17.4	14.2
要支援2	237	13.7	215	13.0	217	13.5	187	12.0	12.9	13.9
要介護1	393	22.8	385	23.3	348	21.7	338	21.7	20.4	20.7
要介護2	329	19.1	318	19.2	309	19.3	325	20.9	15.9	16.7
要介護3	224	13.0	234	14.2	222	13.8	215	13.8	12.2	13.2
要介護4	203	11.7	202	12.2	190	11.9	182	11.7	13.1	12.8
要介護5	152	8.8	131	7.9	153	9.6	164	10.6	8.1	8.5
計	1,727	100.0	1,653	100.0	1,602	100.0	1,556	100.0	100.0	100.0

※宮城県・国の数値は、厚生労働省介護保険事業状況報告（令和5年7月分）より算定。

【傾向と推移】

- ・令和5年9月末時点では要介護1と要介護2の割合が高く、全体の42%程度となっており、宮城県平均及び全国平均を上回っています。
- ・一方で要支援1と要支援2の割合は25%程度で県平均及び全国平均より低く、全体的に見ると要介護3以上の割合は県平均・全国平均とほぼ同じ数値になっています。
- ・引き続き要介護3以上の認定者数の推移に注視していく必要があります。

認定者数の推移



2. 介護給付費等について

(1) サービス受給者の状況について

① 居宅介護(介護予防)サービス (R5.9月末現在延べ人数) (単位:人)

項目 \ 介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号被保険者	349	648	1,515	1,383	723	480	298	5,396
第2号被保険者	2	32	21	46	27	9	17	154
合計	351	680	1,536	1,429	750	489	315	5,550

② 地域密着型(介護予防)サービス (R5.9月末現在延べ人数) (単位:人)

項目 \ 介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号被保険者	16	7	217	213	199	126	70	848
第2号被保険者	0	0	4	0	0	2	4	10
合計	16	7	221	213	199	128	74	858

③ 施設介護サービス (R5.9月末現在延べ人数) (単位:人)

項目 \ 介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号被保険者	0	0	91	190	460	605	378	1,724
第2号被保険者	0	0	0	0	5	6	5	16
合計	0	0	91	190	465	611	383	1,740

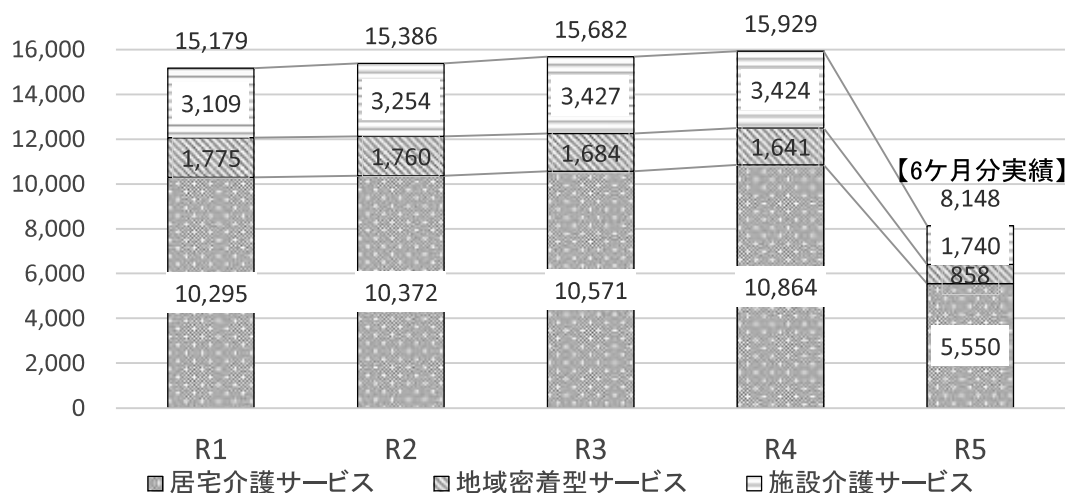
介護度別受給者数 (R5.9月末現在延べ人数) 計 (①+②+③) (単位:人)

項目 \ 介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号被保険者	365	655	1,823	1,786	1,382	1,211	746	7,968
第2号被保険者	2	32	25	46	32	17	26	180
合計	367	687	1,848	1,832	1,414	1,228	772	8,148

サービス毎の受給者数の推移 (延べ人数) (単位:人, %)

項目 \ 年度	R5 (R5.9月末)	R4 (R5.3月末)	R3 (R4.3月末)	R2 (R3.3月末)	R1 (R2.3月末)	対前年度 伸び率
① 居宅介護サービス	5,550	10,864	10,571	10,372	10,295	△ 48.9
② 地域密着型サービス	858	1,641	1,684	1,760	1,775	△ 47.7
③ 施設介護サービス	1,740	3,424	3,427	3,254	3,109	△ 49.2
合計	8,148	15,929	15,682	15,386	15,179	△ 48.8

サービス受給者数の推移



【傾向と推移】

・認定者の増加に伴い、各サービスの受給者数は増加傾向にあります。
 ・介護度が重くなるにつれ、施設介護サービスの需要はやはり高く、今後もニーズに合わせたサービスの展開が必要となります。

(2) 介護給付費等の推移について

①実績と計画との比較

(単位:円, %)

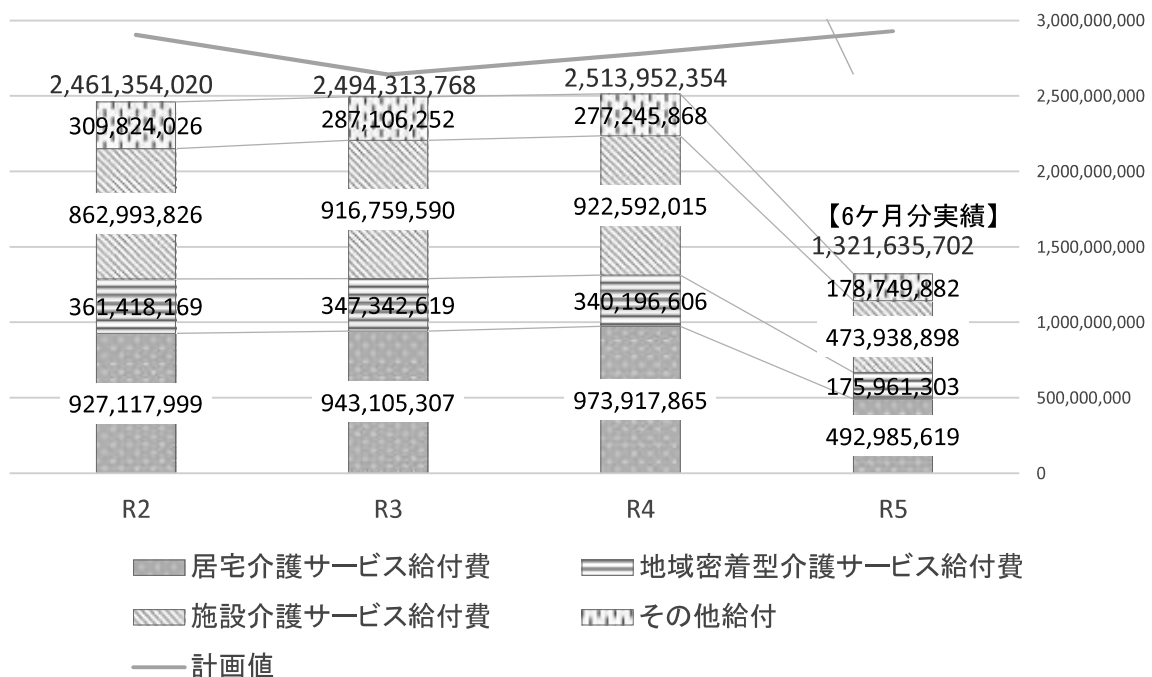
項目		年度	R5 (R5.9月末)	R4 (R5.3月末)	R3 (R4.3月末)	R2 (R3.3月末)
実績値	居宅介護サービス給付費		492,985,619	973,917,865	943,105,307	927,117,999
	地域密着型介護サービス給付費		175,961,303	340,196,606	347,342,619	361,418,169
	施設介護サービス給付費		473,938,898	922,592,015	916,759,590	862,993,826
	合計※		1,321,635,702	2,513,952,354	2,494,313,768	2,461,354,020
計画値	居宅介護サービス給付費		1,187,529,000	1,111,354,000	1,035,695,000	996,462,000
	地域密着型介護サービス給付費		412,904,000	394,808,000	378,168,000	481,106,000
	施設介護サービス給付費		1,022,479,000	973,591,000	924,237,000	1,034,330,000
	合計※		2,929,456,000	2,781,302,000	2,642,180,000	2,904,477,000
執行率	居宅介護サービス給付費		41.5	87.6	91.1	93.0
	地域密着型介護サービス給付費		42.6	86.2	91.8	75.1
	施設介護サービス給付費		46.4	94.8	99.2	83.4
	合計※		45.1	90.4	94.4	84.7

※合計には、特定入所者介護サービス費、居宅介護サービス計画給付費を含む。

【傾向と推移】

・上半期において、居宅介護サービス及び地域密着型介護サービスはこれまでの新型コロナウイルス感染症の影響から回復途中のため、計画値より低調な執行率となっています。施設介護サービスについては、概ね計画通りに推移しています。

介護給付費の推移

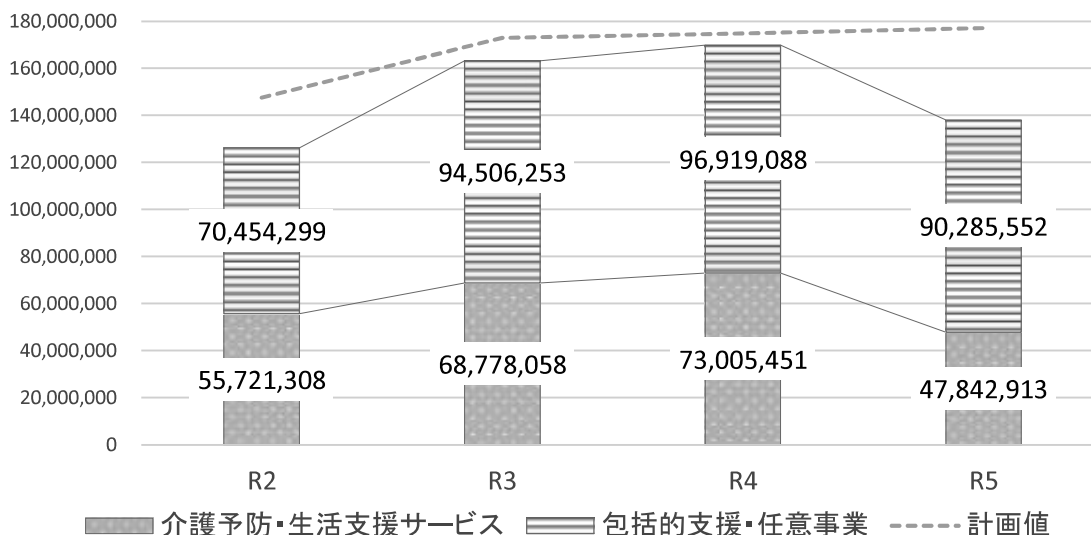


② 地域支援事業費の推移

(単位:円, %)

項目	年度	R5 (R5. 9月末)	R4 (R5. 3月末)	R3 (R4. 3月末)	R2 (R3. 3月末)
介護予防・生活支援サービス		47,842,913	73,005,451	68,778,058	55,721,308
包括的支援・任意事業		90,285,552	96,919,088	94,506,253	70,454,299
計		138,128,465	169,924,539	163,284,311	126,175,607
計画値		177,131,000	174,894,000	172,941,000	147,589,000
介護予防・生活支援サービス		79,195,000	77,924,000	76,687,000	74,780,000
包括的支援・任意事業		97,936,000	96,970,000	96,254,000	72,809,000
執行率		78.0	97.2	94.4	85.5

地域支援事業費の推移



【傾向と推移】

- ・ 認定者の中で要支援対象者が近年増加傾向にあり、地域支援事業においても通所型サービス、訪問型サービス共にその需要は高まっています。
- ・ 次期計画では包括的支援・任意事業も地域包括支援センターのこれまで以上の役割強化を図るために、事業費は高くなっていく見込みとなります。

介護予防・日常生活支援サービスについて

総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）のサービス毎の受給者数の推移
(単位:人)

項目	年度	R5 (R5. 9月末)	R4 (R5. 3月末)	R3 (R4. 3月末)	増減 R5-R4
事業対象者		196	172	185	24

通所および訪問事業に係る受給者の推移

(単位:人)

項目	年度	R5 (R5. 9月末)	R4 (R5. 3月末)	R3 (R4. 3月末)	R2 (R3. 3月末)
第1号 通所事業	要支援1	238	405	389	273
	要支援2	308	561	462	427
	事業対象者	778	1,455	1,325	1,070
合計		1,324	2,421	2,176	1,770
第1号 訪問事業	要支援1	109	209	144	128
	要支援2	168	392	382	331
	事業対象者	42	90	136	105
合計		319	691	662	564

通所および訪問事業給付の推移

(単位:円)

項目 \ 年度	R5 (R5. 9月末)	R4 (R5. 3月末)	R3 (R4. 3月末)	R2 (R3. 3月末)
介護予防通所介護	0	0	0	0
通所介護相当サービス	9,044,047	15,732,829	12,795,100	11,152,717
筋トレ型通所サービス	15,922,674	25,149,626	26,901,509	20,217,569
合 計	24,966,721	40,882,455	39,696,609	31,370,286
介護予防訪問介護	0	0	0	0
訪問介護相当サービス	3,037,030	7,131,252	6,001,293	4,432,480
生活支援型訪問サービス	1,717,690	3,833,630	4,260,420	3,652,440
合 計	4,754,720	10,964,882	10,261,713	8,084,920

【傾向と推移】

・通所事業と訪問事業双方において事業対象者が増加しており、筋トレ型通所サービスを一例とすると、その開催数の増加で需要増に対応する検討状況にあります。今後もサービス給付は増加していくものと見込まれます。